

見積参考資料

委託業務名 **R2吉耕 震災対策 徳島20 ため池
地質調査2業務**

注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な
業務委託費の見積りのための一資料であり、委
託契約を拘束するものではない。

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策	徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

項 目 名	内 容
事業主体名	東部農林水産局（吉野川）
事業名	震災対策農業水利施設整備事業
地区名	徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務
施工場所	阿波市市場町
業務番号	
業務区分	
積算区分	当初積算
地域区分	徳島県
地区区分	徳島東部 1
工期	
積算体系年月	令和 2 年 8 月
単価期適用年月	令和 2 年 8 月—A
歩掛期適用年番号	
電力会社名	

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0	
業務名	R 2 吉 耕 震災対策	徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0	
業務名	R 2 吉 耕 震災対策	徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

項 目 名	内 容
業務名	
業務区分	
積算区分	
積算体系区分	【調査業務】
工種区分	調査業務（一般）
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
電力区分	低圧・業者持・1年未満
週休2日補正	補正なし
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

項 目 名	数 量	単位	金 額	備 考
1 調査業務価格				
2 ・ 一般調査業務費				
3 ・ ・ 純調査業務費				
4 ・ ・ ・ 直接調査費				
5 ・ ・ ・ ・ 直接人件費 ~ 機械経費	1.000	式		
6 ・ ・ ・ ・ 直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式		
7 ・ ・ ・ ・ 直接経費(電子成果品作成費)	1.000	式		
8 ・ ・ ・ 間接調査費				
9 ・ ・ ・ ・ 間接調査費(施工管理費以外)	1.000	式		
10 ・ ・ ・ ・ 施工管理費				
11 ・ ・ 諸経費				
12 ・ ・ 一括計上価格	1.000	式		

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接人件費～機械経費内訳				
直接人件費～機械経費	1.000	式		
・ 直接人件費～機械経費	1.000	式		
・ ・ 直接人件費～機械経費	1.000	式		
・ ・ ・ 地質調査ボーリング	1.000	式		
・ ・ ・ 地質調査ボーリング サンプリング用	1.000	式		
・ ・ ・ 原位置試験	1.000	式		
・ ・ ・ サンプリング	1.000	式		
・ ・ ・ 資料整理取りまとめ	1.000	式		
・ ・ ・ 断面図作成	1.000	式		
・ ・ ・ 室内試験	1.000	式		
・ ・ ・ ため池土質定数設定	1.000	式		
・ ・ ・ 打合せ	1.000	式		

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉 耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

工 種 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
間接調査費（施工管理費以外）内訳				
間接調査費（施工管理費以外）	1.000	式		
・ 旅費交通費	1.000	式		
・ ・ 旅費交通費	1.000	式		
・ ・ ・ 旅費交通費（調査）	1.000	式		
・ 間接調査費	1.000	式		
・ ・ 仮設費	1.000	式		
・ ・ ・ 足場工	1.000	式		
・ ・ 運搬費	1.000	式		
・ ・ ・ 資材運搬費	1.000	式		
・ ・ その他間接調査費	1.000	式		
・ ・ ・ その他間接調査費	1.000	式		

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接人件費～機械経費					
・ 直接人件費～機械経費	1.000	式			
・ ・ 直接人件費～機械経費	1.000	式			
・ ・ ・ 地質調査ボーリング	1.000	式			1 式当たり
【機械ボーリング（地質調査用）】 土質ボーリング（オールコア）, φ66, 粘性土・シルト, , 50m以下, 鉛直下方	35.900	m			単 A S 単 5号
【機械ボーリング（地質調査用）】 土質ボーリング（オールコア）, φ66, 固結シルト・固結粘土, , 50m以下, 鉛直下方	12.000	m			単 A S 単 6号
【機械ボーリング（地質調査用）】 岩盤ボーリング（オールコア）, φ66, , 軟岩, 50m以下, 鉛直下方	3.000	m			単 A S 単 7号
合 計					
・ ・ ・ 地質調査ボーリング サンプリング用	1.000	式			1 式当たり
【機械ボーリング（地質調査用）】 土質ボーリング（ノコア）, φ86, 粘性土・シルト, , 50m以下, 鉛直下方	3.500	m			単 A S 単 8号
【機械ボーリング（地質調査用）】 土質ボーリング（ノコア）, φ116, 固結シルト・固結粘土, , 50m以下, 鉛直下方	18.300	m			単 A S 単 9号
合 計					
・ ・ ・ 原位置試験	1.000	式			1 式当たり
【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 粘性土・シルト,	35.000	回			単 A S 単 12号
【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 固結シルト・固結粘土,	12.000	回			単 A S 単 13号
【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 軟岩,	3.000	回			単 A S 単 14号

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【サウンディング及び原位置試験】 現場透水試験,ケーシング法,GL-10m以内	24.000	回			単 A S 単 15号
合 計					
・・・ サンプルング	1.000	式			1 式当たり
【サンプルング】 シンフォニック リング	1.000	本			単 A S 単 10号
【サンプルング】 デニソニック リング	2.000	本			単 A S 単 11号
合 計					
・・・ 資料整理取りまとめ	1.000	式			1 式当たり
【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 3,0	1.000	業務			単 A S 単 19号
合 計					
・・・ 断面図作成	1.000	式			1 式当たり
【断面図等の作成(一般調査業務費)】 3,0	1.000	業務			単 A S 単 20号
合 計					
・・・ 室内試験	1.000	式			1 式当たり
室内土質試験 土粒子の密度試験 JIS A 1202 3 個 / 試料	8.000	試料			単 A

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
室内土質試験 土の含水比試験 JIS A 1203 3 個 / 試料	8.000	試料			単 A
室内土質試験 土の粒度試験 沈降分析 (ふるい分析含)	8.000	試料			単 A
室内土質試験 土の液性限界試験 JIS A 1205 6 点 / 試料	8.000	試料			単 A
室内土質試験 土の塑性限界試験 JIS A 1205 3 個 / 試料	8.000	試料			単 A
室内土質試験 土の湿潤密度試験 A 法 (ノギス法) 3 個 / 試料	3.000	試料			単 A
三軸圧縮試験 C U 試験 径 5 0 mm (間げき水压測定含む)	3.000	試料			単 A
合 計					
・・・ ため池土質定数設定	1.000	式			1 式当たり
土質定数設定	1.000	箇所			単 A T 単 1 号
合 計					
・・・ 打合せ	1.000	式			1 式当たり
打合せ (地質調査用)	2.000	回			単 A S 単 21 号
合 計					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 20	
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 20	ため池地質調査 2 業務	

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
間接調査費 (施工管理費以外)					
・ 旅費交通費	1.000	式			
・ ・ 旅費交通費	1.000	式			
・ ・ ・ 旅費交通費 (調査)	1.000	式			1 式当たり
打合せ (調査旅費・交通費) 通勤により打合せ,,,ライトバン,,,1時間, L < 100km (100km未満)	2.000	回			単 A S 単 23号
合 計					
・ 間接調査費	1.000	式			
・ ・ 仮設費	1.000	式			
・ ・ ・ 足場工	1.000	式			1 式当たり
【足場仮設】 平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下	2.000	箇所			単 A S 単 16号
【足場仮設】 傾斜地足場,地形傾斜 15 ° 以上 ~ 30 ° 未満,50m以下	1.000	箇所			単 A S 単 17号
合 計					
・ ・ 運搬費	1.000	式			
・ ・ ・ 資材運搬費	1.000	式			1 式当たり
トラック[クレーン装置付] ,ハ`-スリ3t級 2.9t吊	1.000	日			単 A S 単 4号
合 計					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0		
業務名	R 2 吉耕 震災対策	徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0	
業務名	R 2 吉耕 震災対策	徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
	地質調査技師		人		1.000 人	当たり算出
	地質調査技師			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分					
	地質調査技師		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S 単 - 2号 ***					
	主任地質調査員		人		1.000 人	当たり算出
	主任地質調査員			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分					
	主任地質調査員		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S 単 - 3号 ***					
	地質調査員		人		1.000 人	当たり算出

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	地質調査員			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)労務コード					
	2)労務単価算定区分					
	地質調査員		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単 - 4号 ***					
	トラック[クレーン装置付]		日		1.000 各単位	当たり算出
	トラック[クレーン装置付] ハーフスパン3t級 2.9t吊			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)機械コード 単位が日のみ	M03105				
	2)機械損料算出区分					
	3)運転 1 日当たり運転時間(T)					
	4)運転日に対する供用日の割合(YC)					
	5)単価計上区分					
	6)燃料区分					
	7)燃料の計上方法					
	8)燃料消費量(入力の場合)					
	9)交替制作業補正区分	交替制補正対象外				
	トラック[クレーン装置付]		供用日			<損料>
	軽油 ハーフ給油		L	5.700		
	合 計					算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単位					
	*** S 単 - 5号 ***					
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オールコア), φ66, 粘性土・シルト, 50m以下, 鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング(オールコア)				
	2)孔径区分	φ66				
	3)土質区分	粘性土・シルト				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング(オールコアボーリング 深度50m以下) φ 66mm 粘性土・シルト 鉛直下方	1.000	m			
	合 計					算出数量 1.000 m
	単 価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S 単 - 6号 ***					
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オールコア), φ66, 固結シルト・固結粘土, 50m以下, 鉛直			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	下方					
	1)作業区分	土質ボーリング (オールコア)				
	2)孔径区分	φ 66				
	3)土質区分	固結シルト・固結粘土				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング (オールコア・リング 深度50m以下) φ 66mm 固結シルト・固結粘土 鉛直下方	1.000	m			
	合 計					算出数量 1.000 m
	単 価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 7号 ***					
	【機械ボーリング (地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング (地質調査用)】 岩盤ボーリング (オールコア), φ 66, 軟岩, 50m以下, 鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	岩盤ボーリング (オールコア)				
	2)孔径区分	φ 66				
	4)岩区分	軟岩				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	岩盤ボーリング (深度 5 0 m以下) φ 66mm 軟岩 鉛直下方	1.000	m			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計					算出数量 1.000 m
	単 価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 8号 ***					
	【機械ボーリング（地質調査用）】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング（地質調査用）】 土質ボーリング（ノコア）, φ86, 粘性土・シルト, 50m以下, 鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング（ノコア）				
	2)孔径区分	φ86				
	3)土質区分	粘性土・シルト				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング（ノコアボーリング 深度50m以下） φ 86mm 粘性土・シルト 鉛直下方	1.000	m			
	合 計					算出数量 1.000 m
	単 価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 9号 ***					
	【機械ボーリング（地質調査用）】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング（地質調査用）】 土質ボーリング（ノコア）、φ116、固結シルト・固結粘土、50m以下、鉛直 下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング（ノコア）				
	2)孔径区分	φ116				
	3)土質区分	固結シルト・固結粘土				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング（ノコアボーリング 深度50m以下） φ116mm 固結シルト・固結粘土 鉛直下方	1.000	m			
	合 計					算出数量 1.000 m
	単 価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 10号 ***					
	【サンプリング】		本		1.000 本	当たり算出
	【サンプリング】 シウォールサンプリング			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)施工区分	シンウォールサンプリング				
	シンウォールサンプリング 粘性土	1.000	本			
	合 計					算出数量 1.000 本
	単 価		本			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S 単 - 11号 ***					
	【サンプリング】		本		1.000 本	当たり算出
	【サンプリング】 デニソンサンプリング			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分	デニソンサンプリング				
	デニソンサンプリング 粘性土	1.000	本			
	合 計					算出数量 1.000 本
	単 価		本			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 12号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,粘性土・シルト,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分	標準貫入試験 粘性土・シルト				
	標準貫入試験 粘性土・シルト	1.000	回			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S 単 - 13号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,固結シルト・固結粘土,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分	標準貫入試験 固結シルト・固結粘土				
	標準貫入試験 固結シルト・固結粘土	1.000	回			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S 単 - 14号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,軟岩,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分	標準貫入試験 軟岩				
	標準貫入試験 軟岩	1.000	回			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S 単 - 15号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	【サウンディング及び原位置試験】 現場透水試験,ケーシング法, GL-10m以内			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分	現場透水試験				
	2)規格区分	ケーシング法				
	3)適用基準	GL-10m以内				
	現場透水試験 ケーシング法 GL-10m以内	1.000	回			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 16号 ***					
	【足場仮設】		箇所		1.000 箇所	当たり算出
	【足場仮設】 平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分	平坦地足場				
	2)規格	高さ0.3m以下				
	3)深度区分	50m以下				
	平坦地足場 板材足場 (0 . 3 m以下)	1.000	箇所			
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 17号 ***					
	【足場仮設】		箇所		1.000 箇所	当たり算出
	【足場仮設】 傾斜地足場,地形傾斜 15 ° 以上 ~ 30 ° 未満,50m以下			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分	傾斜地足場				
	2)規格	地形傾斜 15 ° 以上 ~ 30 ° 未満				
	3)深度区分	50m以下				
	傾斜地足場 地形傾斜 15 ~ 30° 5 0 m以下	1.000	箇所			
	合 計					算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 18号 ***					
	【その他間接調査費】		業務		1.000 業務	当たり算出
	【その他間接調査費】 0箇所,5箇所,0箇所			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)環境保全	0箇所				
	2)調査孔閉塞	5箇所				

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)給水費	0箇所				
	環境保全 仮囲い	0.000	箇所			
	調査孔閉塞	5.000	箇所			
	給水費（ポンプ運転） 2 0 m以上 1 5 0 m以下	0.000	箇所			
	合 計					算出数量 1.000 業務
	単 価		業務			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 19号 ***					
	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】		業務		1.000 業務	当たり算出
	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 3.0			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)対象土質ポンプ本数 2)対象岩盤ポンプ本数	3 0				
	資料整理とりまとめ 一般調査業務費	0.880	業務			
	合 計					算出数量 1.000 業務
	単 価		業務			
	*** S単 - 20号 ***					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	【断面図等の作成(一般調査業務費)】		業務		1.000 業務	当たり算出
	【断面図等の作成(一般調査業務費)】			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	3.0					
	1)対象土質ボーリング本数	3				
	2)対象岩盤ボーリング本数	0				
	断面図等の作成 一般調査業務費		業務	0.880		
	合 計					算出数量 1.000 業務
	単 価		業務			
	*** S単 - 21号 ***					
	打合せ(地質調査用)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ(地質調査用)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)打合せ					
	2)主任技師人数					
	3)技師(A)人数					
	4)技師(B)人数					
	5)打合せ日数					
	6)往復移動日数					
	主任技師		人			
	技師(A)		人			
	技師(B)		人			
	合 計					算出数量 1.000 回
	単 価		回			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 22号 ***					
	【地盤情報検定費】		本		1.000 本	当たり算出
	【地盤情報検定費】 A 検定			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)検定区分	A 検定				
	地盤情報検定費 A 検定	1.000	本			
	合 計					算出数量 1.000 本
	単 価					
	*** S 単 - 23号 ***					
	打合せ (調査旅費・交通費)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (調査旅費・交通費) 通勤により打合せ,,,ライトバン,,,1時間, L < 100km (100km未満)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)地質調査技師配置人員					
	2)主任地質調査員配置人員					
	3)地質調査員配置人員					
	4)打合せ日数					
	5)往復移動日数					
	6)宿泊区分	通勤により打合せ				
	9)交通機関区分	ライトバン				
	10)高速道路往復料金(税別)					
	11)鉄道往復1人当料金(税別)					
	12)バス往復1人当料金(税別)					
	13)船舶往復1人当料金(税別)					
	14)航空往復1人当料金(税別)					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	15)ライトバン使用日数					
	16)時間区分	1時間				
	17)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
	ライトバン[二輪駆動]		日			<損料>
	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	2.600	L			
	合 計					算出数量 1.000 回
	単 価		回			
	*** S 単 - 24号 ***					
	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	当たり算出
	電子納品版業務報告書作成			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	2. A - 4 ,200,3cm,2					
	1)報告書部数(部)	2.000				
	2)規格区分	A - 4				
	3)枚数区分(枚)	200				
	4)厚さ区分	3cm				
	5)CD-R枚数(枚)	2.000				
	報告書焼付代 (コピ -)					
	A - 4 以下 2 0 0 枚	2.000	部			
	簡易加除式ファイル					
	A 4 縦型幅3cm(チューブ・パイプファイル)	2.000	冊			
	C D - R					
	C D - R (記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB	2.000	枚			
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0	
業務名	R 2 吉耕 震災対策	徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

項 目 名	内 容
業務名	
業務区分	
積算区分	
積算体系区分	【測量業務】
工種区分	測量業務（一般）
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
電力区分	低圧・業者持・1年未満
週休2日補正	補正なし
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策	徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0	
業務名	R 2 吉耕 震災対策	徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業	徳島 2 0	
業務名	R 2 吉耕 震災対策	徳島 2 0	ため池地質調査 2 業務

[illegible]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
	4 級基準点測量		点		35.000 点	当たり算出
	4 級基準点測量 計上しない,耕地,平地,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)伐採の有無	計上しない				
	2)地域	耕地				
	3)地形	平地				
	4)地形個別補正					
	測量主任技師 内業		人			
	測量技師 内業		人			
	測量技師 外業		人			
	測量技師補 内業		人			
	測量技師補 外業		人			
	測量助手 内業		人			
	測量助手 外業		人			
	機械経費 3.0%	0.030				
	通信運搬費等 3.0%	0.030				
	材料費 2.5%	0.025				
	合 計					算出数量 35.000 点
	単 価		点			
	精度管理費	0.090				

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 2号 ***					
	路線測量 横断測量		km		1.000 km	当たり算出
	路線測量 横断測量 平地,耕地,0.00,45m未満,100m,1,000台未満/12時間,0.00,0			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)地形区分	平地				
	2)地物区分	耕地				
	3)特殊地形の補正值	0.00				
	4)幅区分	45m未満				
	5)間隔区分	100m				
	6)現場条件	1,000台未満/12時間				
	7)特殊交通条件による補正值	0.00				
	8)単曲線区分	0				
	測量技師 外業		人			
	測量技師 内業		人			
	測量技師補 外業		人			
	測量技師補 内業		人			
	測量助手 外業		人			
	測量助手 内業		人			
	機械経費 2.0%	0.020				
	材料費 3.5%	0.035				
	合 計					算出数量 1.000 km
	単 価		km			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	精度管理費	0.100				
	*** S単 - 3号 ***					
	現地測量()		式		1.000 式	当たり算出
	現地測量() 1/500,平地,耕地,0.00,0.005			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)縮尺区分	1/500				
	2)地形区分	平地				
	3)地域区分	耕地				
	4)特殊地形の補正值	0.00				
	5)明細計上面積	0.005				
	測量主任技師 内業		人			
	測量技師 外業		人			
	測量技師 内業		人			
	測量技師補 外業		人			
	測量技師補 内業		人			
	測量助手 外業		人			
	機械経費 6.5%	0.065				
	通信運搬費等 1.0%	0.010				
	材料費 2.0%	0.020				
	小計					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 2 0
業務名	R 2 吉耕 震災対策 徳島 2 0 ため池地質調査 2 業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	小計 (10)補正後					
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			
	精度管理費	0.050				
	*** S単 - 4号 ***					
	現地測量()		式		1.000 式	当たり算出
	現地測量() 1/500,平地,耕地,0.00			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)縮尺区分	1/500				
	2)地形区分	平地				
	3)地域区分	耕地				
	4)特殊地形の補正值	0.00				
	測量主任技師 作業計画(内業)		人			
	測量技師 作業計画(内業)		人			
	測量技師補 作業計画(内業)		人			
	小計					
	小計 (4)補正後					
	合 計					算出数量 1.000 式
	単 価		式			

R2吉耕 震災対策 徳島20 ため池地質調査2業務 数量計算書

(地質調査)

第2金清池

作業項目	詳細事項	単位	数量	備考
0. 打合せ		業務	1.0	
1. 調査ボーリング				3箇所 L= 50.9m
機械ボーリング φ66	粘性土・シルト	m	35.9	
	固結シルト・固結粘土	m	12.0	
	軟岩	m	3.0	
機械ボーリング φ86	粘性土・シルト	m	3.5	不攪乱試料の採取
機械ボーリング φ116	固結シルト・固結粘土	m	18.3	不攪乱試料の採取
2. 原位置試験				
標準貫入試験	粘性土・シルト	回	35.0	
標準貫入試験	固結シルト・固結粘土	回	12.0	
標準貫入試験	軟岩	回	3.0	
現場透水試験	ケーシング法	回	24.0	
3. サンプルング	シンウォールサンプリング	本	1.0	
	デニソンサンプリング	本	2.0	
4. 資料整理取りまとめ				
ボーリング本数		本	3.0	
5. 断面図作成				
ボーリング本数		本	3.0	
6. 室内試験				
土粒子の密度試験		試料	8.0	
土の含水比試験		試料	8.0	
土の粒度試験		試料	8.0	
土の液性限界試験		試料	8.0	
土の塑性限界試験		試料	8.0	
土の湿潤密度試験		試料	3.0	
三軸圧縮試験	Cuber試験	試料	3.0	
7. 土質定数の設定				
定数の設定		式	1.0	

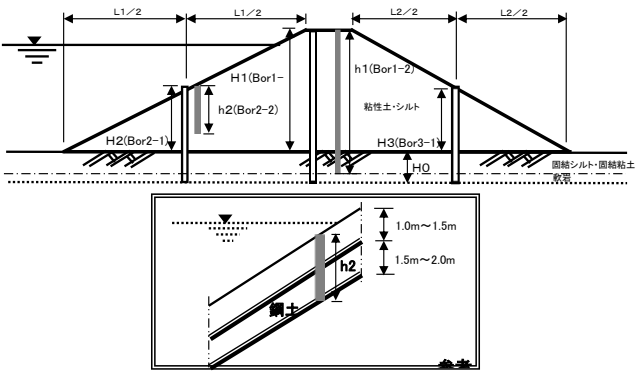
8. 資機材運搬 (1箇所当り2t計上)	3t車, 2.9t吊クレーン付 (箇所数－1日計上)	日	1.0	
人肩運搬	50m以下	箇所	0.0	
特装車運搬	100m以下	箇所	0.0	
	100m～500m	箇所	0.0	
モノレール運搬	100m以下	箇所	0.0	
	100m～500m	箇所	0.0	
9. 仮設足場				
平坦地足場		箇所	2.0	
傾斜地足場	15° ～30° 未満	箇所	1.0	
水上足場	水深3m以下	箇所	0.0	
9. その他間接調査費	調査孔閉塞	箇所	5.0	

ため池地質調査業務 標準数量算出表

第2金清池

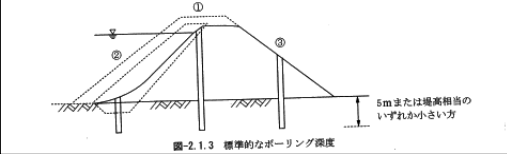
作業項目	詳細事項	単位	数量
1. 調査ボーリング			
機械ボーリングφ66	粘性土・シルト	m	35.9
	固結シルト・固結粘土	m	12.0
	軟岩	m	3.0
機械ボーリングφ86	粘性土・シルト	m	3.5
機械ボーリングφ116	固結シルト・固結粘土	m	18.3
2. 原位置試験			
標準貫入試験	粘性土・シルト	回	35.0
標準貫入試験	固結シルト・固結粘土	回	12.0
標準貫入試験	軟岩	回	3.0
現場透水試験	ケーシング法	回	24.0
3. サンプリング	シンウォールサンプリング	本	1.0
	デニンソンサンプリング	本	2.0
4. 資料整理取りまとめ			
ボーリング本数		本	3.0
5. 断面図作成			
ボーリング本数		本	3.0
6. 室内試験			
土粒子の密度試験	標準貫入試験の資料を用いて試験を行う。	試料	8.0
土の含水比試験		試料	8.0
土の粒度試験		試料	8.0
土の液性限界試験		試料	8.0
土の塑性限界試験		試料	8.0
土の湿潤密度試験		試料	3.0
三軸圧縮試験	Cuber試験	試料	3.0
7. 土質定数の設定			
定数の設定		式	1.0
8. 資機材運搬	3t車、2.9t吊クレーン付	日	1
人肩運搬	50m以下	箇所	0.0
特装車運搬	100m以下	箇所	0.0
	100m～500m	箇所	0.0
モノレール運搬	100m以下	箇所	0.0
	100m～500m	箇所	0.0
9. 仮設足場			
平坦地足場		箇所	2.0
傾斜地足場	15°～30° 未満	箇所	1.0
水上足場	水深3m以下	箇所	0.0

堤高	H1	H2	H3	H0	備 考
14.3m	14.3m	7.2m	14.4m	5.0m	H1,H3=堤高、H2=H1の1/2、H0は5mまたは堤高のいずれか小さい方
機械ボーリングφ66					
土質区分	堤 体	基 礎		深度計	備 考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩		
層厚比率		H0*80%	H0*20%		
Bor1-1	14.3m	4.0m	1.0m	19.3m	
Bor2-1	7.2m	4.0m	1.0m	12.2m	
Bor3-1	14.4m	4.0m	1.0m	19.4m	
土質別深度	35.9m	12.0m	3.0m	50.9m	
機械ボーリングφ86、φ116					
土質区分	堤 体	基 礎		深度計	備 考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩		
Bor1-2	14.3m	4.0m	—	18.3m	Bor1-2はφ116で削孔 Bor2-2は堤高が7m未満はH2、7m以上は3.5mとしφ86で削孔
Bor2-2	3.5m	—	—	3.5m	
土質別深度	17.8m	4.0m	—	21.8m	
標準貫入試験					
土層区分	堤 体	基 礎		計	備 考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩		
Bor1-1	14回	4回	1回	19回	①層厚が1m未満は1回
Bor2-1	7回	4回	1回	12回	②層厚が1m以上は整数値層厚回数
Bor3-1	14回	4回	1回	19回	
計	35回	12回	3回	50回	
現場透水試験					
	Bor1-1	Bor1-2	Bor1-3	計	備 考
回数	9回	6回	9回	24回	φ66深度計／2mの整数値回数
サンプリング					
土層区分	堤 体	基 礎		計	備 考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩		
Bor1-2	2本	本	—	2本	
Bor2-2	1本	本	—	1本	
計	3本	本	—	3本	
物理試験					
土層区分	堤 体	基 礎		計	備 考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩		
Bor1	2資料	1資料	—	3資料	右図(イメージ図)参照
Bor2	2資料	1資料	—	3資料	
Bor3	1資料	1資料	—	2資料	
計	1資料	1資料	—	8資料	



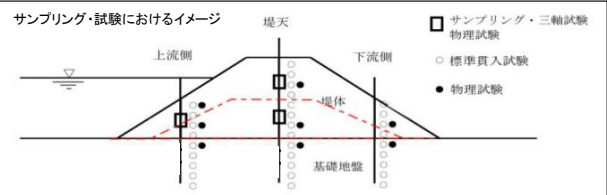
b. ボーリング位置及び本数の決定
ボーリング位置及び本数は、堤体最大断面の中央及び上下流1カ所ずつの計3カ所を標準とする。ただし、山池の袖部、皿池等の堤長が長い場合は現場諸条件を考慮し追加調査を行う。

c. ボーリングの深度
ボーリングの深度は、基礎地盤面からおおむね5m、又は堤高相当深さのいずれか浅い方を標準とする(図-2.1.3)。この深度までを調査することにより、各設計段階で必要とする地盤の透水性及び強度を把握するには十分と考えられる。なお、ここである基礎地盤面は、既存資料、あるいはボーリング作業時に判断されるが、判断が困難な場合は現況底面の高さとしてよい。

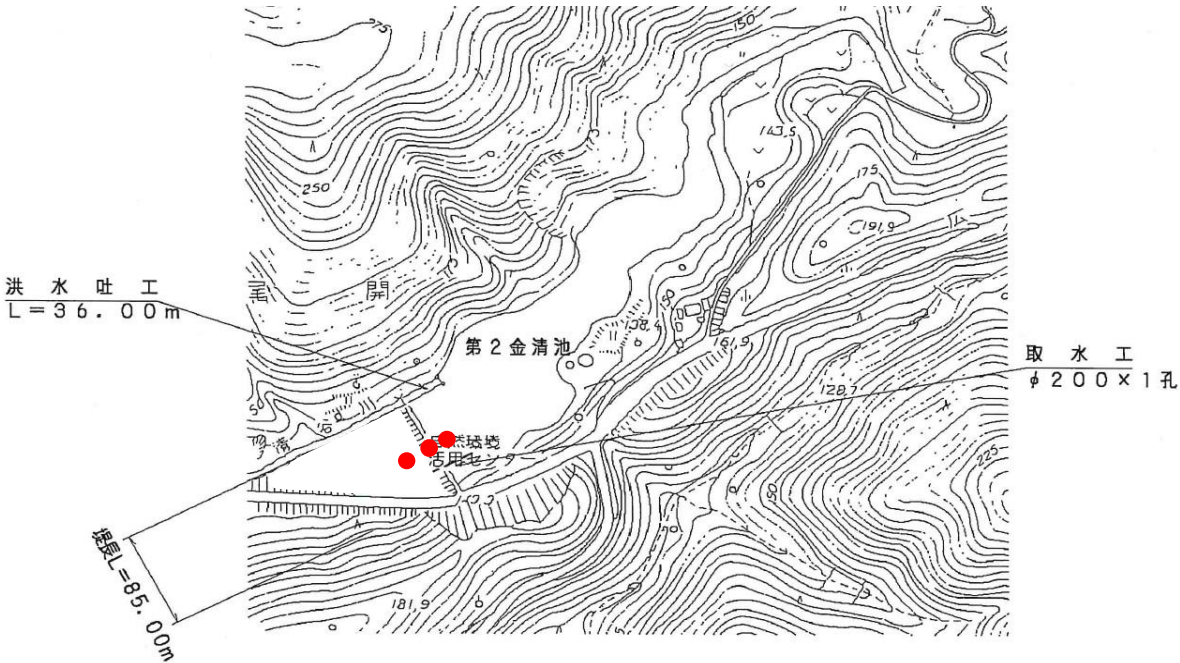


(c) 標準貫入試験
標準貫入試験は一般に1mごとに実施するが、土層に変化があれば可能な限り、少なくとも各層に1回は実施する。

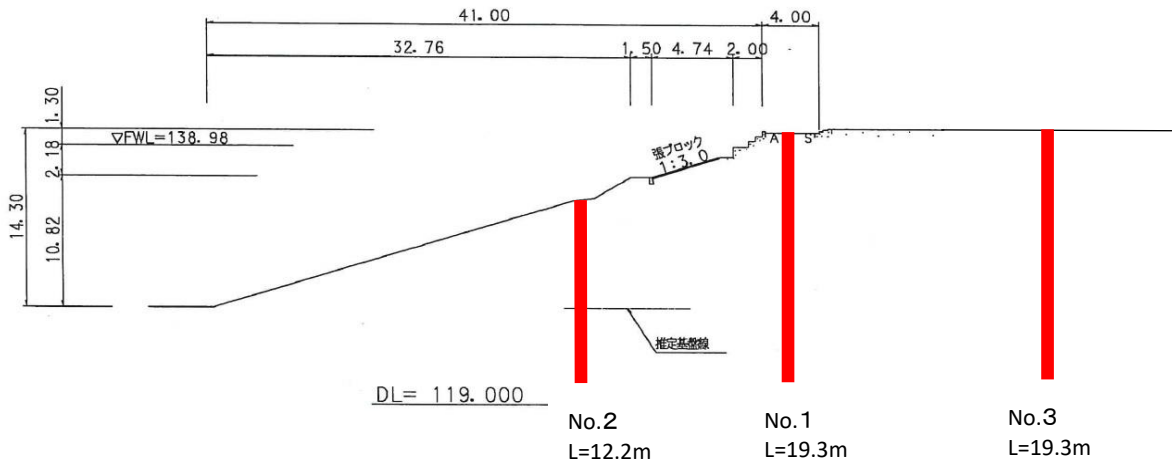
(b) 透水試験
透水試験は、バックカー法により、継連することによって行われる。ただし、ボーリング孔壁が自立しないような土質(水の多い砂や礫等)の場合は、ケーシング法が良好な結果が得られることがある。試験長は2mを標準とするが、透水性が大きい場合は、試験長を短くして透水箇所を確認する。また、基礎地盤面付近にあっては試験長をできる限り短くする。注水圧は、堤体に影響が及ばない範囲とする。



【第2金清池】



アースフィルダム (均一型)
 $S=1/300$



(測量)

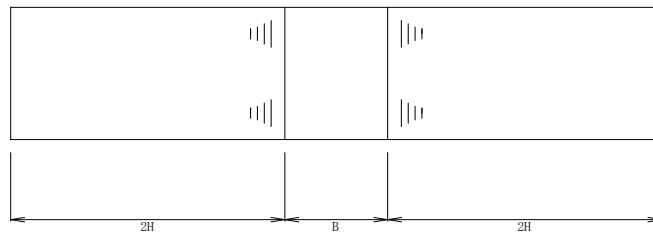
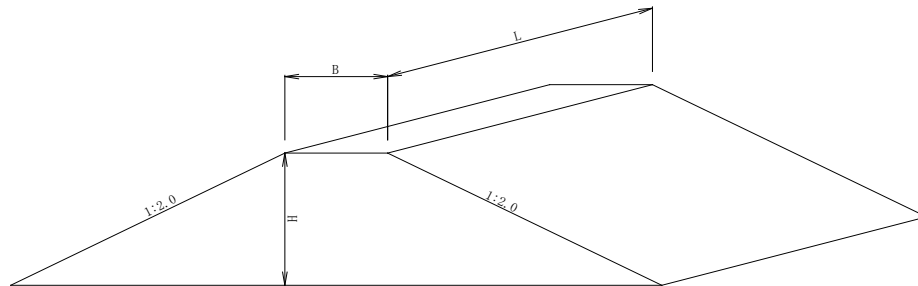
面積計算

(単位:m, m2)

名称	天端幅(B)	堤高(H)	堤長(L)	面積
第2金清池	4.0	14.3	85.0	4,681.8
計			85.0	4,681.8
			= 0.085km	= 0.005km ²

$$A=(B+4H) \times L \times 0.9$$

※「0.9」: 全てのため池が1:2の勾配ではないため補正を行う。



4級基準点	1池	×	3点	3点
-------	----	---	----	----